

# 事業評価シート（平成26年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	交差点改良事業		
事業担当	土木部 道路整備課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	住みごこち 人にやさしい居住空間をつくる	
	'02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
交差点周辺の交通渋滞の緩和が図られ、騒音等が低減されています。		交通渋滞の解消や事故防止のため、車両がスムーズに交差点を通過できるよう右折帯を設置します。	

## 2. 事業の検証

活動指標	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
活動指標	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
成果指標	指標名	交差点改良進捗率				単位	%
	説明・算定式	平成28年度までの指数累計に対する当該年度までの指数累計の率。測量10、用地・補償40、工事50					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	57	68	79	79		
	実績	57	67	68			
成果指標	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	：若干遅れている						
	遅れている理由	駅前通り線の改良工事が遅延しているため。					
平成26年度の主な取組と成果							
新庁舎の建設にあわせ後谷八幡裏線の交差点改良工事を行い、右折帯を設置しました。							
平成26年度の検証結果	B：おおむね成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	交差点を改良し右折帯を設置することは、交通渋滞の解消や事故防止のため、必要性は高いと考えます。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	右折帯を設置することにより、交通の利便性を図り、生活環境の有効性を高める必要があります。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	市民生活に欠かせない道路整備であり、安全で快適な生活環境の確保が必要です。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	道路整備のコスト削減に取り組みます。	高中低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 警察等と協議を行い、改良が必要な交差点の優先順位を定め、整備を進める必要があります。また、継続した整備も必要です。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		工事、仮設道路	工事、補償	交差点の整備	交差点の整備
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	110,400	100,500	144,400	0
	その他 特財	8,808	8,396	8,344	0
	一般財源	7,146	8,422	14,698	0
事業費 (A)		126,354	117,318	167,442	0
執行率 (%)		57.61	59.16	88.81	

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成28年度の取組方針</b> 交差点の右折帯設置は交通渋滞の解消につながるため、拡大して事業を継続します。
<b>課長コメント</b> 交差点を改良し右折帯を設置することは、渋滞解消等の効果が期待されるため、積極的に事業を進めます。